

土岐川グリーンベルト通信 第124号

令和6年度「土岐津の森」土岐津中学校による活動報告

土岐川流域グリーンベルト活動とは

多治見市・土岐市の“市街地に隣接する樹林地”を「土砂災害に強く、自然環境や景観が豊かな樹林地（グリーンベルト）として保全・創出すること」を目的とし、学校やボランティア団体等地域と連携して活動しています。

土岐津中学校での取り組み

土岐津中学校の1年生107名が、ふるさとの森「土岐津の森」を舞台に、土砂災害や樹木の働きなどについて学んだり、森の土や木を観察したりしました。

この活動は、多治見砂防国道事務所、土岐市、多治見さぼう・みちボランティアクラブの支援のもと実施しました。



○学習会 10月30日

屋内学習:「砂防・森のはなし」「ハザードマップの確認」、「森の移り変わりについて」
屋外学習:「土石流模型実験」

○観察会（野外学習） 11月8日

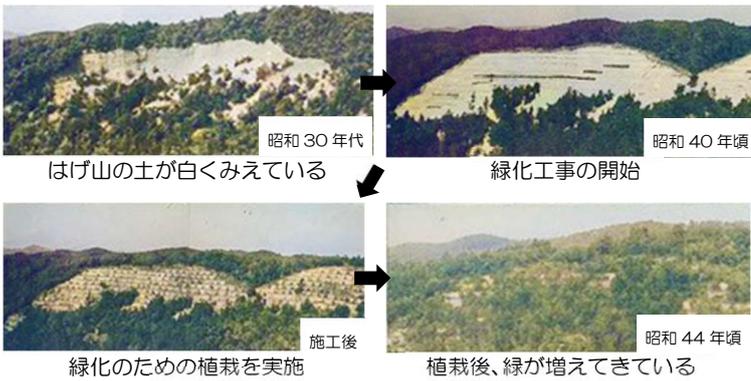
野外学習「森の土の観察」「森の木の観察」



10/30 学習会（森に入る前の事前学習）

はげ山からの再生

昭和30年代頃の土岐市は、燃料伐採・陶土の採掘等により「はげ山」が広がっていました。「はげ山」では、少しの雨でも大量の土砂が流出し、下流域では土砂災害が頻発していました。土砂の流出を軽減するため、砂防事業等による緑化対策に取り組んだ結果、緑が回復しました。

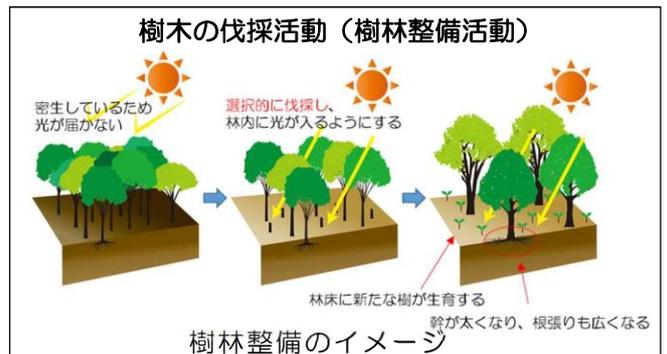


(出典：復刻版 よみがえる緑の山 土岐地区民有林直轄治山事業、中部森林管理局)

強く豊かな樹林にするために

緑は回復しましたが、現状の「土岐津の森」では林床が暗く、新たな植物が芽生えにくい環境であるため、樹林が備える様々な効果が期待しにくい状況となっています。

そのため、土砂災害が発生しないような「強くて明



砂防・森のはなし



かつてはげ山だった土岐川流域の歴史や土砂災害から、樹林整備の必要性などを学びました。

ハザードマップの確認



土岐市の職員の方に、災害が起こりやすい場所や避難場所についてハザードマップを使って説明していただきました。

森の移り変わりについて



はげ山から森林への移り変わりの過程について、勉強しました。

土石流模型実験



砂防堰堤によって、土砂災害の被害が軽減されるようすを模型実験で学びました。

11/8 観察会(野外学習)

土や木の観察を通じて、「土岐津の森」に触れ合うとともに、土壌や樹種の特徴から「土岐津の森」におけるの樹林整備の必要性を学びました。ほとんどの生徒は「土岐津の森」に初めて入りましたが、土岐市、多治見砂防国道事務所の職員と多治見さぼう・みちボランティアクラブの指導のもと、ケガなく活動を終えることができました。

森に入る前の説明



危険予知活動



森に入る



森の土の観察



森の木の観察



活動後のふりかえり



○生徒のコメント(一部抜粋)

- ・土砂災害が起こりやすいからこそ、森について知っておきたいと思いました。家の周りは水害が起こりやすいので、日頃から災害についての意識を持って暮らしていきたいと思いました。
- ・森は、いろんなところで僕たちを守ってくれているから、すごいと思った。
- ・実際に観察して楽しかった。これからもあの森を大切にしてほしい。
- ・印象に残っていることは、土石流模型実験で、砂防堰堤があるかないかだけで全然違ったこと。
- ・森はいろいろな人の整備で安全にできていたのすごいなと思いました。
- ・人の手で綺麗に整備していることが驚きました、そして綺麗にしてくれた人に感謝したいと思いました。
- ・自然に触れることはすごくいいことだと思いました。
- ・自然環境を緑豊かに保つには、それなりに努力しなければいけないことが理解できました。
- ・学習会と観察会を通して、森が何の役割をしているのかが知れてよかった。
- ・森がないと私たちはしょっちゅう災害が起きて不便なので、森はないといけないものなんだと深く理解することができた。

- 土岐津の森グリーンベルト活動の経緯
平成18年：活動開始(歩道整備、森林調査等)
平成20年：樹林整備開始
- 過去の主な支援者
土岐市、岐阜大学、NPO 法人鎮守の森、
土岐口財産区、土岐津公民館、
多治見さぼう・みちボランティアクラブなど

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所 砂防調査課
〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6
TEL : (0572) 25-8024

【事務所HP】【砂防X(旧Twitter)】

